

赤道直下

カリマンタン

(旧 ボルネオ)

カリマンタン——明るい響きをもつこの地域は、赤道直下に横たわる世界第3の島ボルネオ島の南4分の3を占める広大な地域である。

この広がりとはほとんど大陸の様相を呈すが、全般的に高温多湿、大部分が未開のジャングルと未踏の湿原に覆われており、ここでは大小の川を利用する船での移動が唯一の交通手段である。



下・マハカム河畔に点在する民家

上・サマリンドの子供たちは純朴だ





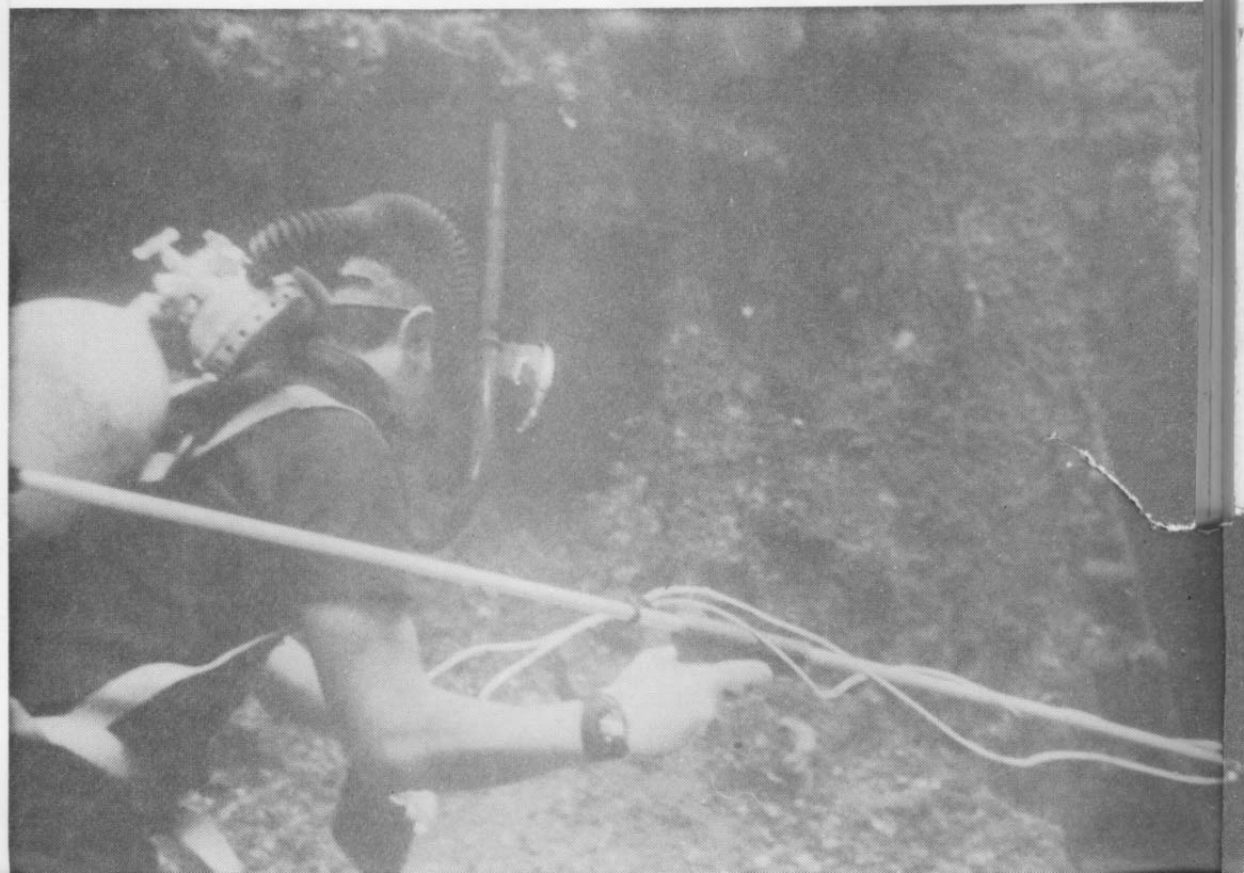
左・海底 25 m に輸送船・富士川丸は眠っていた。サンゴや海綿が付着しており漁礁と化していた。

沈船を探る

トラツク諸島海底調査

左・突然岩かげより体長 3 m 程のアオザメがすうーと姿をあらわし、周囲を悠然と泳ぎはじめた。

下・水中銃をもつて富士川丸の船腹を探查する。沈船の周囲にはバラキューダが群をなしており、いつそう不気味な感じがする。





激流との闘い

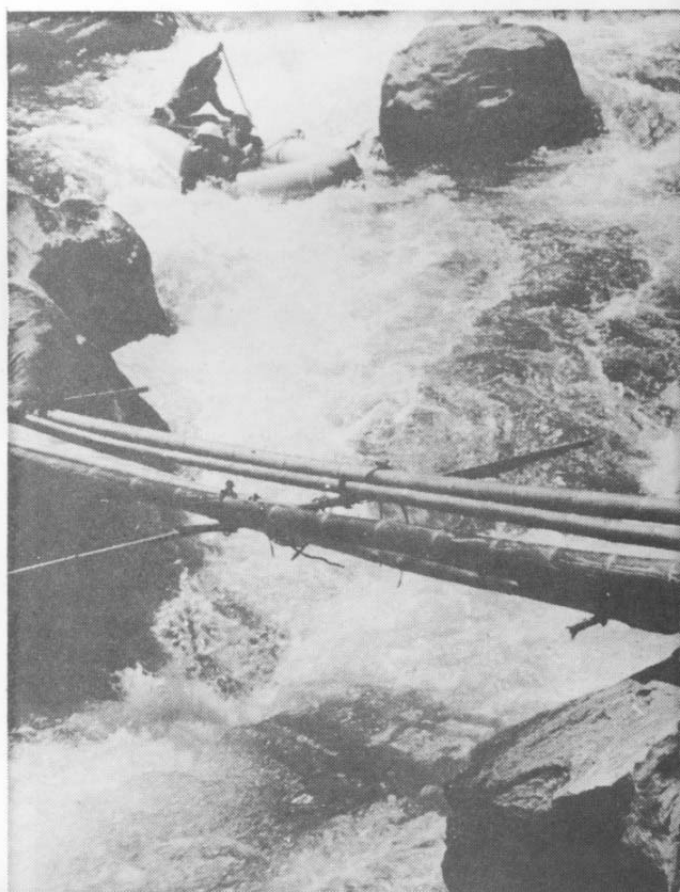
— 吉野川を下る —

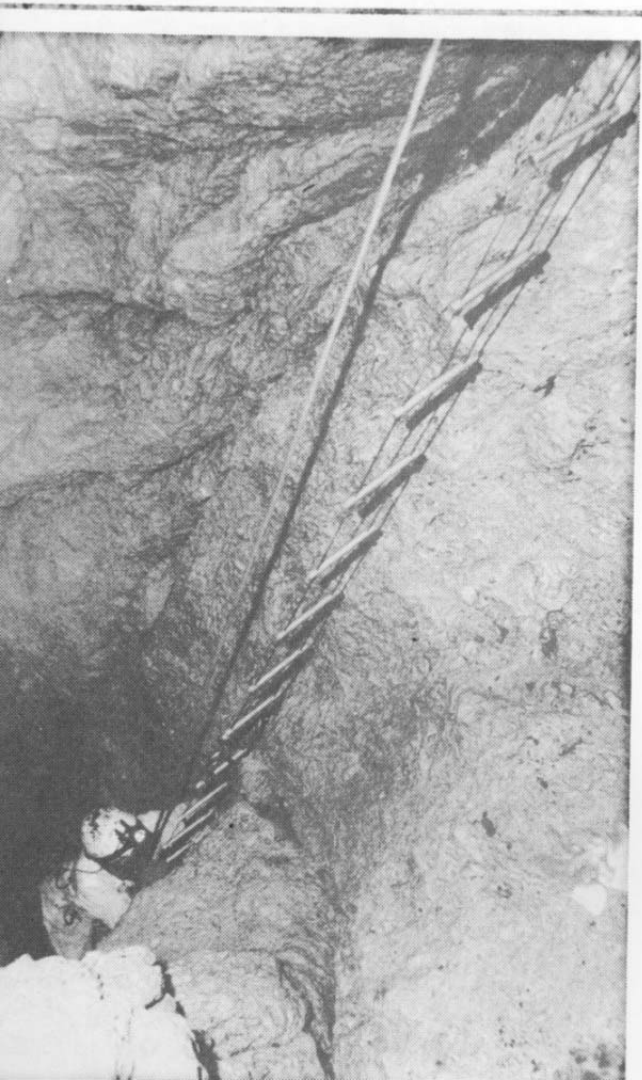
吉野川は四国第一の長流であり、かつ激流でもある。その長さ 194 Km 平均落差 200 分の 1。

巨岩奇岩の連続であり、その間にある時は激流となつて一瞬にして駆け抜け、ある時は威風堂々とゆるやかに流れるこの吉野川は我々によき試練を与えてくれた。

上・ボートに波が当たり、飛沫となつて散る。この川の最大の特徴である大波との闘いだ。

下・波をかぶり、その反動で一人がボートから落ちた。とつさに仲間が彼の手をつかむ。





霧の中へ

トツブは姿を消して行つた
 ボイルが流れ、ピトンが歌う
 そこに二人の心がかよう
 そして再び二人が合つた時
 登攀は終つた
 一瞬見えた峻嶺もすぐに霧に没した

— 剣岳八ツ峯七峯より —

幻の大横穴を求めて

—— 青海・奴奈川洞 ——

マイコミ平に降つた雨は地下に潜る。その地下水流の行方は？ 4 Km 北方の福来口という出水口につづいているならば全長 4 Km 以上の横穴洞穴が眠っているかもしれない。

— 青海洞窟群調査 —